令和７年度　つくば市立茎崎幼稚園　グランドデザイン

教育目標
えがお輝く たくましい子どもを育てる

茨城県の教育テーマ
すべての子どもの
可能性を引き出す
活力ある学校づくり

めざす幼児像
- ○ 健康で明るく生き生きと活動できる子ども
- ○ 思いやりがあり、友達と仲よく遊べる子ども
- ○ 自分のことは自分でできる子ども
- ○ 進んで挑戦し、やり抜くことができる子ども
- ○ 自ら考え、思いや考えを伝え合える子ども

つくば市の教育の根幹
- ・「教え」から「学び」へ
- ・「管理」から「自己決定」へ
- ・「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

園 経 営 の 重 点

幼児一人一人の発達を十分に理解しながら様々な体験活動を通して、生き生きと自分を表現したり、折り合いをつけたりできるような保育を推進する。

総合的な環境の中で、基本的生活習慣を身に付けながら、幼児どうしが共に成長できるような環境をつくる。

家庭や地域社会と一体となって幼児教育に取り組む中で、 様々な人との交流を通した育ちを大切にしながら豊かな心情を育む。

幼稚園の役割
家庭では体験できない社会・文化・自然などに触れ、 教師に支えられながら幼児期なりの世界の豊かさに出会う場である。

幼稚園での体験を生かした活動
- ・興味、関心を広げた保育
- ・協同的な遊びの展開
- ・非認知能力の育成
  ※重点：挑戦し、やり抜く力
- ・伝え合う活動の充実
- ・基本的な生活習慣の確立
- ・依存から自立への支援

家庭の役割
愛情と躾を通して、 幼児期の成長の最も基礎となる心の基盤を形成する場である。

地域との交流
- ・保幼小中連携の充実
  （異年齢との関わり）
- ・地域人材による体験活動
  （日本舞踊、ダンス、リトミック、読み聞かせ）
- ・地域資源の活用
  （警察・消防署、公園、自然の森）

家庭との連携
- ・ＰＴＡによる活動支援
  （夏祭り、運動会）
- ・躾を身に付させる取組
  （早寝早起き朝ごはん、あいさつ、返事、トイレの始末）
- ・肯定的な感情の育成
  （自分や家族を大切にする心）

地域の役割
様々な人との交流を通して、 豊かな体験が得られる場である。